

お客様からの製品フィードバック

製品名：KAPASYBR Fast qPCR Kit (KK4612)

メーカー名：KAPA BIOSYSTEMS 社

アプリケーション：マウス十二指腸由来cDNAのGAPDHの増幅 (Rotor-Gene)

下記のデータは、北海道大学大学院 医学研究科 解剖学講座 組織細胞学分野 木村俊介 様のご厚意により掲載させて頂きました。

実験方法

Qiagen Rotor-Gene Q (Corbett Rotor-Gene 6000) で2社のqPCR試薬を用い、マウス十二指腸のcDNAを4段階に希釈したサンプルでマウスGAPDHの増幅を比較しました。

● サンプル：マウス十二指腸由来 cDNA

● 検討試薬：KAPASYBR Fast qPCR Kit (SYBR® Green 蛍光色素使用)
Q社製品 (SYBR® Green 蛍光色素使用)

● 反応組成

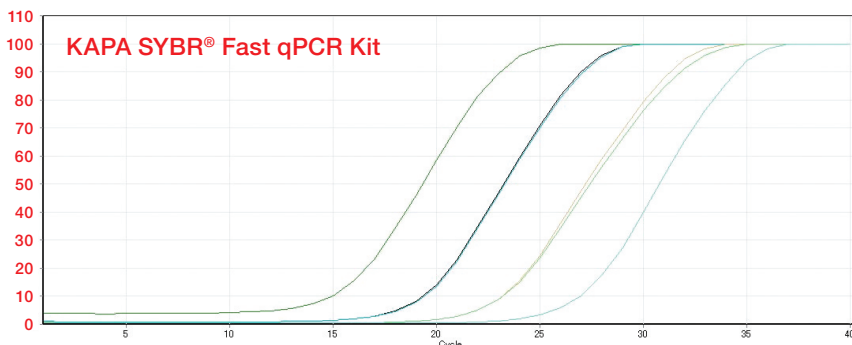
2xマスターミックス	10 μ l
10 μ M Fwd Primer	0.5 μ l
10 μ M Rev Primer	0.5 μ l
Template	1 μ l (50ngのmRNAからの逆転写に相当するcDNA)
ddH ₂ O	8 μ l
Total	20 μ l

● 反応プログラム (両製品共通)

95 $^{\circ}$ C	5min	} 40 cycle
95 $^{\circ}$ C	5sec	
60 $^{\circ}$ C	10sec	

● 装置：Qiagen Rotor-Gene Q
(Corbett Rotor-Gene 6000)
※0.2ml チューブ使用

結果

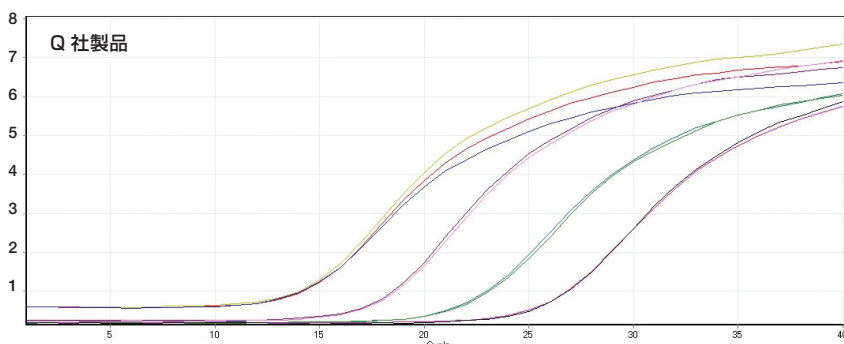


比較に用いた Q 社製品の標準プロトコルをそのまま使用しました。

テンプレートはマウス十二指腸の cDNA を4段階に希釈したものを使用して、マウス GAPDH の増幅を調べました。

結果、KAPA の方が蛍光強度が強く良い結果が得られました。

※Ct 値による比較は実施していませんでした。



<お客様のコメント>

今回、KAPASYBR Fast qPCR Kit (KK4612) では、これまで使用していたQ社キットのプロトコルを変更せずに、感度の良いqPCRを行うことができました。